

1年生SDGs最終発表会

2月5(水)・12日(水)



2週にわたり1年生SDGs最終発表会が行われました。2月5日に各クラスで全員が発表し、12日にはクラス代表の8グループが8分間発表と質疑応答を行いました。クラス代表の生徒たちは、1年間の探究の成果を、熱意を込めて報告しました。質疑応答も活発に行われ、発表者は懸命に質問に答えていました。

最終発表会には、金沢大学教職員大学 教授 松田淑子氏・慶応大学大学院 特任教授 横田浩一氏・国連大学 事務局長 永井三岐子氏・日立製作所 北陸支社 犀川学氏をはじめ、金沢大学・北陸大学・金沢市役所・金沢青年会議所・大学生メンターの方々にご参観いただきました。

1年生は1年間の探究を終えましたが、探究は生涯にわたって続いてゆくものです。これからも身の回りの社会課題について、共感を持ちながら探究を続けてもらいたいと思います。

第1学年「西高SDGsプロジェクト」にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

最終発表結果

第1位 12H 『Let's enjoy studying!』

第2位 14H 『WORK TO BE HAPPY!』

第3位 18H 『金沢はインスタでつながっている』

審査員講評

<p>金沢大学教職員大学 教授 松田淑子氏</p>	<p>自分たちが解決したい課題について先に取り組んでいる人に話を聞きに行き、学びを深めることが大切である。自分の成長を自分で認め、改善していくことが探究である。</p>
<p>慶応大学大学院 特任教授 横田浩一氏</p>	<p>社会課題について共感する力を持ちながら探究することが大切である。現場を見ると解決策が変わるので、そこから実際に行動に移すことが必要である。探究を通して出会った社会人、大学生の方との繋がりを大切にしてほしい。</p>
<p>日立製作所 北陸支社 犀川学氏</p>	<p>大人が考えている社会課題について、大人が発想できないかたちの解決策を発表していた。今考えたことが社会人になったときに必要となる。他者にどう説明すれば相手が納得するか考えること、社外の方に話を聞くことなど、社会人になった後も探究で行ったことと同じことをする。</p>